

# 愛媛県松山市の新たな魅力を首都圏へ届ける話題のフリーペーパー 『暖暖松山（だんだんまつやま）』 Vol.3 2012年11月30日（金）に発行！

毎号、駅ラックのピックアップ率100%！

大人気のフリーペーパー第3号は、

“瀬戸の小魚文化”などをテーマに、松山の魅力を発信。

松山市（愛媛県松山市二番町四丁目7-2 市長:野志克仁）は、2012年11月30日に、フリーペーパー『暖暖松山』Vol.3を発行いたします。この冊子は、松山の生活や文化など多彩な魅力を紹介するとともに、松山人特有のあたたかい心を首都圏に発信していくフリーペーパーです。

Vol.1は今年1月に創刊し、首都圏の主要駅のラックでの設置をはじめ、オフィス、カフェ等の店舗や家庭へ配布し、さまざまな方面から多くのご好評の声をいただきました。そしてVol.2では、松山市の離島を中心に、また一味違った松山市の魅力を首都圏の皆様にお伝えしてまいりました。

そして本号では、「愛媛・松山の食の恵みと文化に出会う旅」と題し、瀬戸内海に面する松山市の瀬戸の小魚文化から、醤油や地酒などを通じて、松山の生活、歴史、さらにはあたたかな心を紐解いていきます。また松山の魅力を満喫できる1泊2食の旅などが当たるプレゼントもありますので、是非ご覧ください。



“暖暖（だんだん）”には松山の温暖な気候と松山市民のおもてなしのあたたかな心、そして“ありがとう”の意味の方言である“だんだん”という言葉を掛けています。

なお、暖暖松山オフィシャルサイト [www.dandanmatsuyama.com](http://www.dandanmatsuyama.com) では、バックナンバーを含めた本誌ダウンロードが可能です。



見本誌を送付いたします。ご希望の方は、下記(株)オズマピーアール担当までお問合せください。

本件に対するお問合せ

松山市役所 総合政策部 都市ブランド戦略課  
『暖暖松山』編集部 (株)オズマピーアール内

山内、小笠原 濱地

TEL:089-948-6707 FAX:089-934-1804  
TEL:03-4531-0225 FAX:03-3265-5058

## ●第2号に寄せられた読者の声

■30代男性（神奈川県）／私は旅行が好きで、妻と一緒によく旅行に出掛けます。いつもは有名な観光地を駆け足で回ることが多いのですが、今回の記事を読ませていただき、ちょっと足を延ばすだけで有名な観光地以外にも魅力的な場所が存在しているということに気づきました。忽那諸島のような場所で、ゆったりと休暇を過ごすという旅行のスタイルは本当の贅沢だなと思います。

■40代女性（東京都）／9月末に遅い夏休みをとり、夫婦で初の松山行きです。この冊子を手にするまでは、近場の候補地と迷っていたのですが、夫が正岡子規好きなので、この記事が「松山行き」決定の後押しになりました。

## ●情報誌の制作概要

- (1) 名称：「松山市 首都圏プロモーション用 フリーペーパー『暖暖松山』」
- (2) 事業目的：首都圏のオフィスや家庭に配布することにより、松山市の魅力や価値を確実に効果的に情報発信を行うとともに、松山市の知名度の向上と、良好な都市イメージ創りや都市ブランドの確立及び交流人口、定住人口の増加を図ることを目的としたプロモーション用フリーペーパーです。
- (3) 発行：松山市 総合政策部 都市ブランド戦略課
- (4) 規格：A B判 20ページ（表紙及び裏表紙を含む。）
- (5) 印刷方法：オフセット印刷、全ページカラー4色
- (6) 部数：70,000部

## ●配布予定場所（配布部数70,000部について）

※フリーペーパー発行部数世界一のギネス記録を持つ(株)ぱどの配布網を中心に配布いたします。

- ・JR、東京メトロ、都営地下鉄等の駅のラックにて設置（合計部数 約13,000部）  
東京「L'ala Pado（ラーラぱど）」、横浜「ハマカラ」を設置しているラックにて併配します。  
ラック数は約55箇所です。
- ・オフィス配布（合計部数 約5,000部）  
下記の媒体を送付している東京・横浜・埼玉の事業所へ送付します。  
東京:「L'ala Pado（ラーラぱど）」／横浜:「ハマカラ」／埼玉:「BUZZ CLIP（バズクリップ）」
- ・家庭配布（合計部数 約29,500部）  
東京及び神奈川、千葉、埼玉などの各都県のご家庭に配布します。
- ・その他  
松山市より配布（合計部数 約20,000部）  
首都圏のイベントやフリーペーパー専門店等で配布（合計部数 約2,500部）